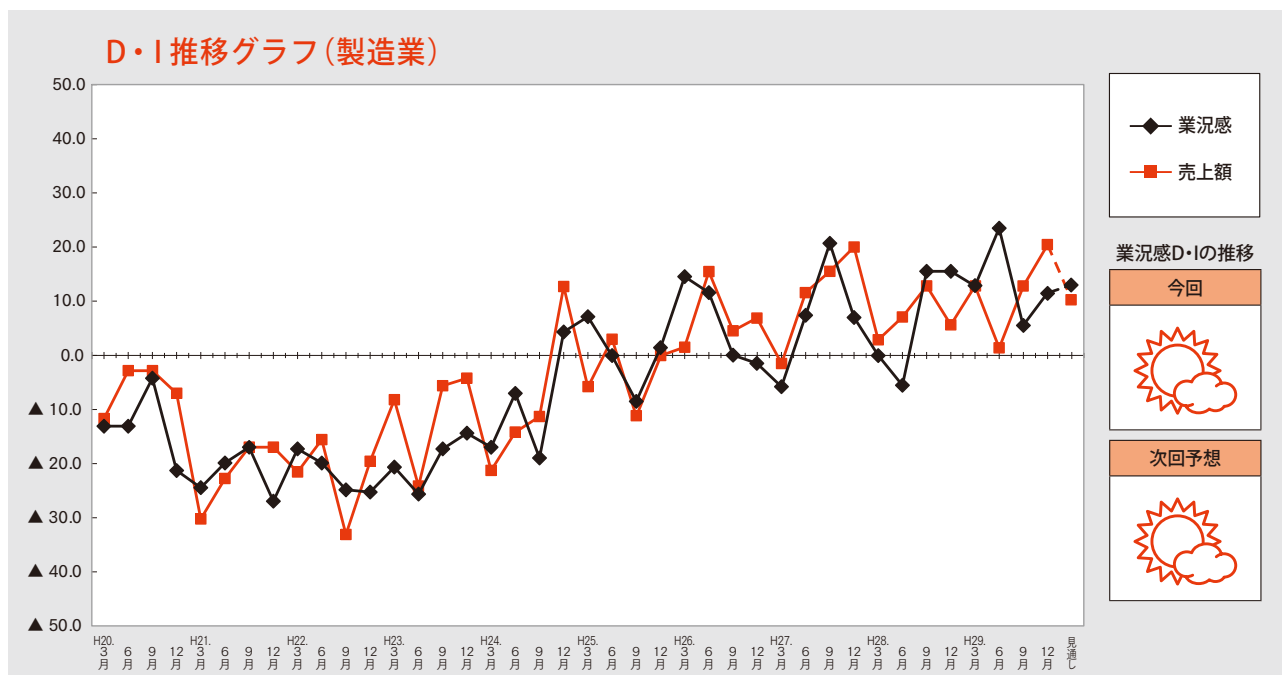


製造業

Manufacturing

業況感改善し、プラスを維持



1 今期（平成29年10－12月期）

今期の業況感は11.6（前期5.7）となり、前期に比べ5.9ポイント改善し、プラスを維持している。前期には大幅に悪化した業況感であったが、売上額、収益のD I値が大幅に改善し、全体の業況感を押し上げたと見られる。一方で、仕入価格のD I値はやや改善したものの、マイナスで推移しており、資金繰りD I値も悪化傾向にある。また、人手についても不足感が高まっている。

2 来期の予想（平成30年1－3月期）

来期の業況感はD I値13.0と今期より2.4ポイント改善し、プラスを維持する見通し。一方で、仕入価格の上昇、在庫不足感、資金繰りの悪化、人手不足感については改善の見通しが立っておらず、厳しい見方をしている企業が多い。

DI値の推移（過去1年と3ヶ月後の予想）

	H28. 12月期	H29. 3月期	H29. 6月期	H29. 9月期	H29. 12月期	来期 見込み
業況感	15.7	12.9	23.5	5.7	11.6	13.0
売上額	5.7	12.9	1.4	12.9	20.3	10.1
収益	4.3	7.1	▲ 4.3	4.3	23.2	0.0
販売価格	11.4	11.4	7.1	2.9	5.8	4.3
仕入価格	▲ 14.3	▲ 15.7	▲ 27.1	▲ 10.0	▲ 8.7	▲ 11.6
在庫	▲ 5.7	▲ 2.9	4.3	4.3	▲ 1.4	▲ 4.3
資金繰り	▲ 5.7	2.9	0.0	▲ 4.3	▲ 13.0	▲ 17.4
人手	8.6	21.4	25.7	13.0	23.2	20.3
設備状況	1.4	13.0	12.9	8.6	7.2	10.3

業況調査メモ

鹿児島県商工会連合会はしょうゆやみそ、酢など県内産の発酵・醸造食品を、甘い味付けを好むベトナムを中心に東南アジアに発信する事業を進めている。経済産業省主管の「JAPANブランド育成支援事業」に採択されたもので、2017年度から3カ年計画で実施している。初年度は鹿児島在住のベトナム人留学生60人を対象にアンケートを採ったところ、鹿児島の甘いしょうゆが好評だった。18年1月27・28日には、ホーチミン市で開催される日越共同の「ジャパンベトナムフェスティバル」に出品するほか、県商工連独自でホテルや飲食店のシェフ向けに、鹿児島のしょうゆやみそを使った料理などをPRする。